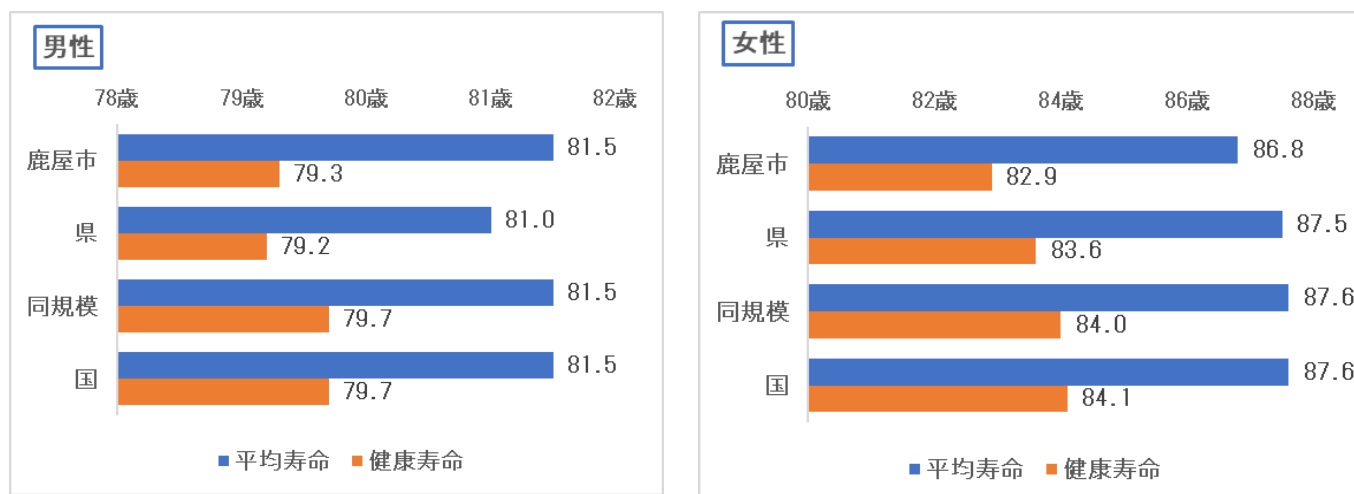


鹿屋市の健康に関する現状

1 平均寿命・健康寿命の状況

- 鹿屋市の平均寿命は、令和7年度では国と同程度であるが、女性では国より0.8年短い。
- 健康寿命（平均自立期間）は、男性・女性ともに国・同規模市町村よりも短く、女性では約1年ほど短くなっている。
- 不健康期間（日常生活が制限される期間）については、女性が男性の1.8倍となっており、国・県と同様、女性の不健康期間が長くなっている。令和7年度では、男女ともに国・県平均よりその期間が長くなっている。



（注）国保データベース（KDB）システムの「平均自立期間」を健康寿命と呼称し、指標として引用（R7 年度値）

2 死亡原因から見える状況

※ 標準化死亡比（SMR）とは、その地域の年齢の違いを調整して、死亡の多さ・少なさを全国平均と比較するための数値

数値が「100 の場合は全国平均と同程度」、「100 より大きい場合は死亡が多い傾向」、「100 より小さい場合は死亡が少ない傾向」を意味する。

- 子宮がんは、鹿屋市、県ともに国平均の100を超えており、鹿屋市だけでなく、県全体でも子宮がんによる死亡率が高い。
- 鹿屋市の生活習慣病では、虚血性心疾患の1つである急性心筋梗塞、脳血管疾患と人工透析が必要になる腎不全による死亡数が、県よりも男性・女性ともに多い。

【令和7年度（令和2年～令和6年の5年間の推移）の標準化死亡比】

	鹿児島県	鹿屋市
子宮がん	106.7	136.6

	鹿児島県		鹿屋市	
	男性	女性	男性	女性
急性心筋梗塞	132.4	140.2	107.7	128.9
脳血管疾患	108.6	110.7	116.8	108.0
腎不全	109.3	124.3	117.0	131.6

（出典：鹿児島県ホームページ 令和7年度保健所別 SMR（令和2年～令和6年））

3 課題： 若年層の健康づくり事業への参加促進

課題（現状・不足）

○鹿屋市健康まつりへの若年層（40 歳以下）の世代の参加が少ない。

【令和 8 年度 鹿屋市健康まつり参加者の年代層】

10～30 代：7.6%、40～60 代：34.1%、70 代以上：58.3%

（例年 7 月に健康増進センターの開設記念イベントと市健康まつりを協働開催）

○30 歳代健診の受診者数が伸び悩んでいる。

【経年実績（目標：450 人/年）】

R 4 年度：345 人

R 5 年度：346 人

R 6 年度：294 人

○がん検診の受診率が低い。

【令和 6 年度 がん検診受診率（69 歳以下）】

	R6 年度受診率	目標値（R17 年度）
胃がん検診受診率	3.71%	11%
大腸がん検診受診率	5.96%	13%
肺がん検診受診率	6.11%	14%
子宮がん検診受診率	14.27%	21%
乳がん検診受診率	25.16%	31%